

しぶや 令和7年4月施行の、改正建築基準法についてどのような内容か伺う。また、これまで耐震改修助成の対象であった住宅が、法改正により対象から外れるのではないかとの声も寄せられている。耐震化助成事業に影響が及ぶのか、区の認識を伺う。

答 弁 (報道広報課長)

大規模修繕に該当する場合、新築時と同様の建築確認申請が新たに義務づけられる。耐震化助成事業に影響が及ぶことも懸念されるため、区としては大規模修繕に該当しない範囲での耐震補強の方策を探る。

学童保育室について

しぶや 「足立区学童保育室整備計画」では、今年度中に25室を整備計画であるが、民設学童保育室を増やせば、保育園と同様に「空き」問題が生じる。整備計画を再度見直し、小学校や空きがある私立幼稚園の活用も検討すべきと考える。区の見解を伺う。

答 弁 (子ども家庭部長)

25室を整備する予定でいたが、25室全ての誘致が確実視できないことから見直しを検討する。まずは14室の誘致に注力し、その応募状況で後期11室の募集を判断したい。小学校や私立幼稚園の活用とともに、学童保育室を含めた放課後の在り方を検討する。

しぶや 放課後の居場所が確保されれば、必ずしも学童保育室でなくても良いケースもある。葛飾区の、小学校の空き教室を一時利用した「かつしかプラス」という校内の居場所づくりを、足立区でも進めてはどうか。

答 弁 (子ども家庭部長)

「かつしかプラス」も参考に、個々の状況に応じた多様な居場所の整備に取り組む。

しぶや 学童保育室の待機児童数は、保育施設のように全ての自治体が共通の方法で算出されるものなのか伺う。真に学童保育室の利用が必要な子どもを把握するために、改善する余地はないのか伺う。

答 弁 (子ども家庭部長)

学童保育の待機児童数は、各自治体が独自に算出している。足立区では、申込み後に入室が不要となった児童等も待機児に含めている。今後、他自治体の集計方法を参考に改善し、真に利用が必要な家庭の把握に努める。



足立区議会議員

しぶや竜一

若い世代で足立区を守る!!
生まれ育った町に恩返しを

渋谷
りゅういち

しぶや竜一 区政報告 2024年10月号

プロフィール

平成10年 足立みどり幼稚園卒業

平成16年 足立区立舎人第一小学校卒業

平成19年 足立区立入谷中学校卒業

平成22年 成立学園高等学校卒業(野球部出身)

平成26年 帝京平成大学卒業(ヒューマン学部柔道整復学科)

平成26年 (株)SHIBUYA 渋谷整骨院・渋谷ダイサービスセンター勤務

平成28年 渋谷ドラゴンフィットネス起業

令和元年 足立区議会議員に初当選、現在2期目

ごあいさつ

皆様方には日頃より多大なるご支援・ご協力を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。

令和6年度足立区議会第二回定例会の中において自民党を代表して登壇させていただき、代表質問をさせていただきました。

その内容の一部をご報告致します。

約25項目75問の質疑・提案を区へ投げかけ、足立区全体の課題解決に向け若い世代・子どもたちを守っていく取り組みの推進や区民の方々の多様な交通手段の導入、各地域のエリアデザイン計画等といった今回は更に幅広く様々な視点で質問をしました。

また、現在開会中の令和6年度足立区議会第三回定例会の決算特別委員会においても幅広く提案をはじめ質疑・議論を展開させていただいております。

7月から8月にかけて開催されたパリオリンピックでは日本勢の選手・アスリートの活躍も目立ち元気を与えてくれました。足立区でもスポーツの推進、

施設の建設、活用においてはまだまだ議論し舎人公園など中心に可能性を引き出していかなければなりません。そして9月には石破新総裁となり、新たな自民党、改革・刷新と寄り添った政治姿勢を見せていかなければと思います。

スポーツ振興、インフラ整備、そして何より今後も生まれ育った足立区の更なるまちづくりの発展、皆様方がより安心安全で暮らせるように寄り添って守る姿勢を抱きながら全力で頑張っていきたいと思います。

どうか今後とも変わらぬご指導ご鞭撻、ご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

足立区議会議員

しぶや 竜一



代表質問の様子

しぶや竜一 日々の活動報告



古千谷本町町会お祭り



消防団合同訓練(旗手を)



足立区議会
自民党副幹事長に



舎人地域において
通学路における安全確保



舎人町会盆踊りの櫓作業



足立区民健康まつり



舎人角力大会行司



あいのわ福祉会
設立記念式典祝辞

発行元/お問い合わせ先

〒121-0831 東京都足立区舎人5-19-15
Eメール: dorafit.0530shiburyu@gmail.com

TEL:080-7006-0972
FAX:03-6332-8769



ご意見・ご要望を
お聞かせください!

足立区政について、皆様の疑問や意見をぜひお寄せください。上記のFAXかメールへご連絡いただければ、足立区内でしたらどこへでも駆けつけます。お気軽にご連絡ください。



オフィシャルLINEへ
是非ご登録を!



今号では、令和6年第2回定例会予算特別委員会にて行った 質疑回答を抜粋してご報告いたします。

令和6年予算特別委員会（初日）令和6年6月19日

財政運営の今後の見通しについて

しぶや 物価高や原油高について、事業者や区民生活への影響・支援の必要性についてどう考えているか。

答 弁（近藤やよい区長）

光熱費の物価指数は、令和3年度を100とすると直近は109程度で、落ち着いている状態と分析している。現状を分析し、必要な対策に予算を計上していく。

しぶや 基金を積極的に活用し、区民生活、区内経済を支えるための支援を迅速に実施すべきだ。

答 弁（近藤やよい区長）

コロナ対策など予期せぬ財政需要にも迅速に対応してきたと考えている。基金を計画的に積み立てながら、真に必要な事業に積極的に導入する。

しぶや 10年連続で過去最大を更新している一般会計予算は見直しが必要と考える。持続可能な財政運営のため、今後の予算編成の考えを伺う。

答 弁（近藤やよい区長）

令和7年度予算の策定は、増加の理由や違い、資料等によりご理解いただけるよう工夫する。優先度、費用対効果を精査し、メリハリのある予算編成を行う。

新たな「足立区子ども計画」について

しぶや 「子どもの貧困対策」、「子ども・若者育成支援」、「少子化社会対策」の3つを個別に検討するとともに、共通の課題認識を持って検討すべきだ。

答 弁（あだち未来支援室長）

審議会において、3つの視点に共通する課題の抽出と整理を徹底して行い、共有する。

しぶや こども計画に盛り込む内容を伺う。また、「子どもの貧困対策」は引き続き最重要課題として位置付けるべきだ。

答 弁（あだち未来支援室長）

全国に先駆けて「子どもの貧困対策」に取り組んできた。新たな計画においても、貧困対策を要と捉える。「子ども・若者育成支援」や「少子化社会対策」においても、区の独自性を打ち出し、国をリードするような取組を構築する。

若い世代の緊急避難支援について

しぶや こども家庭庁は、虐待などを理由に家出した若者が緊急避難できる「こども若者シェルター」を整備。区としても、居場所づくりや相談支援をすべきだ。



答 弁（あだち未来支援室長）

子どもたちが非行を発端とする事件、事故に巻き込まれることを未然に防ぐためにも、区としてどのような取組ができるか検討する。

綾瀬・北綾瀬エリアデザインについて

しぶや 綾瀬駅東口駅前交通広場と都立東綾瀬公園の一体的な空間整備が進んでいる。管理者が区と都で異なる中、区民や事業者が利用しやすい手続き環境整備を求める。

答 弁（道路公園整備室長）

都の公園占有申請書の区での預かりや、区道占用申請書を都に預かってもらうなど、円滑な事務を行えるよう、都と協議する。

しぶや 旧こども家庭支援センター等跡地は、幅広い世代の利用を促す機能を持たせることが重要だ。どのような賑わい施設を想定しているのか伺う。

答 弁（総務部長）

多彩な活動、体験ができる施設を考えている。商業施設やイベントスペースに加え、音楽練習室、キッズスペース、勉強・読書などくつろげるスペースなど、地域のご意見を聞きながら進める。

しぶや 北綾瀬駅前交通広場及びペDESTリアンデッキの整備など、大きく発展する北綾瀬ゾーンのまちづくりを、今後どのように進めるのか伺う。

答 弁（都市建設部長）

「北綾瀬駅周辺地区まちづくり計画」では、駅前交通広場の整備や商業施設誘致の他、しょうぶ沼公園の活用や商店街の活性化等の取組を掲げている。開発動向を注視し、地域の皆様の意見を伺い、具体的な取り組みを検討する。

江北エリアデザインについて

しぶや 上沼田東公園東側創出用地は、上沼田東公園及び高野小学校跡地スポーツ施設との3施設連携に向けてサウンディング型市場調査を実施し、事業者選定を目指すとのことだが、現在の進捗状況を伺う。

答 弁（エリアデザイン推進室長）

令和6年度末の事業者選定を目指しており、予定の変更はない。現在の進捗は、7月に住民説明会、8月にサウンディング型市場調査、10月に事業者公募が実施できるよう、準備を行っている。

西新井・梅島エリアデザインについて

しぶや 西新井駅西口駅前交通広場の早期整備に向け、再開発準備組合及び東武鉄道等に積極的な姿勢で協議に臨んでもらいたい。区の考えを伺う。

答 弁（都市建設部長）

東武鉄道や準備組合と引き続き積極的に協議を進め、交通広場の早期整備を目指す。

竹の塚エリアデザインについて

しぶや 竹の塚のUR団地全体の建て替え計画が示されていない状況で、将来に向けた具体性のあるエリアデザイン計画が策定できるのか、区の考えを伺う。

答 弁（エリアデザイン推進室長）

現状では、具体性のある竹の塚エリア全体にわたる計画の策定は困難と考える。核となる場所や施設周辺を先行的にゾーンとして切り出し、そのゾーンごとにまちづくりの方向性を示す。

しぶや 区は、「人が主役のまちづくり」と題した竹の塚エリアデザインのまちづくりの基本的な考え方を公表した。これをわかりやすく説明するイメージパースなどを作成し、活用すべきだ。

答 弁（エリアデザイン推進室長）

基本的な考え方として、人が主役のまちづくり、ウォーカブルなまちづくりを打ち出している、その具体的な内容は現在検討中です。皆様の御理解を深め、新たな御意見をいただくためのコミュニケーションツールとしてイメージパースの活用を考えている。

しぶや 竹の塚のUR団地のストック再生計画は、竹ノ塚エリアデザイン計画の骨格の一部を成すものと考えられ、公共施設のあり方の検討は避けて通れない課題だ。検討は進んでいるのか、エリアデザイン計画にどのように反映させるのか伺う。



答 弁（エリアデザイン推進室長）

公共施設の在り方については、施設所管課へのヒアリングや配置のパターン比較などの検討を進めている。公共施設の再構築は優先的に検討すべき事項と考えており、整備の手法、規模、内容などの方向性をゾーンごとに順次お示しする。

しぶや 竹の塚と伊興の2つの区民事務所を、高架下など利便性の高い竹ノ塚駅周辺への統合を検討してはどうか。区の考えを伺う。

答 弁（地域のちから推進部長）

竹ノ塚駅周辺は、区民事務所を統合する場合の適地と考えている。高架下への移転も検討したが、柱の多さや高さ制限等の課題が明らかになった。今後、統合の適否も含めて最適な区民事務所の移転先を検討する。

千住エリアデザインについて

しぶや 「千住大川端地区 地区まちづくり計画」が策定され、約2,000戸の高層住宅を中心とする開発が始まろうとしている。完成前に、牛田駅関屋駅周辺のまちづくりについて、既定の計画にとらわれることなく、いわば白紙の状態から検討すべきと考える。区の進め方を伺う。



答 弁（教育指導課長）

鉄道事業者や地域住民などの関係者との意見交換を今年中に開始し、駅前広場整備の課題を含めて当該駅周辺の在り方を改めて整備の上、まちの将来像に示せるよう検討を進める。

旧入谷南小学校跡地活用について

しぶや 5月6日に、旧入谷南小学校跡地活用の地元説明会が開催され、今後基本計画を策定していくと説明があった。今後の説明会などにおいては引き続き地域・地元の方々に寄り添った丁寧な説明を求める。



答 弁 (危機管理部長)

引き続き地元へ寄り添った説明を行う。また、町会・自治会・地域の関係団体には個別に御意見を伺う。

しぶや 避難所設置を求める声もある。設置を考えていないとのことだが、その方針に変わりはないか。また、設置しない理由を伺う。

答 弁 (危機管理部長)

2つの理由により設置を考えていない。①地域内輸送拠点には車両が昼夜を問わず出入りすることや、重機の騒音も想定されるため、避難生活は健康に支障が出ることが懸念される。②旧入谷南小学校周辺の小・中学校で避難者を受入れ可能な状況にある。

しぶや 区内全体の災害拠点備蓄倉庫について、現在の検討状況を伺う。また、安全面を考慮したコミュニティスペース、運動ができる場所の確保をどのように考えているか。最終結論の時期も伺う。

答 弁 (危機管理部長)

現在、区内全体の災害拠点備蓄倉庫の集約化を検討中。検討状況は8月に示す。コミュニティスペース、運動ができる場所については、地元の要望をお伺いしながら、検討を行う。区としての最終結論の時期は、令和7年度末までと考えている。

スポーツを通じて、心ゆたかに生きることに

しぶや 池袋で、大勢の子どもと保護者が参加する「鬼ごっこ」のイベントがあった。運動、スポーツへの入口はこのような遊びにもあるかと考える。三世代、四世代が楽しめる「鬼ごっこ」を区民まつりや千本桜まつり会場で、集客の一環として実施してはどうか。

答 弁 (産業経済部長)

まつりでの実施については、集客の効果や安全性の確保等を検証した上で検討する。

しぶや 見るスポーツの機会も増えてきている。総合スポーツセンターにおいてバスケなどハイレベルな試合を観戦することができるようになってきた。また東京ヴェルディの試合も区民観戦デーとして無料で観戦できた。区内外を問わず、他の競技も観戦できる機会を増やすべきだ。どのような検討をしているのか伺う。



答 弁 (地域のちから推進部長)

今年度は、ヤクルト球団及び読売巨人軍とスポーツに関する連携・協力を行う基本協定を締結し、夏休みに中学生以下の子どもを対象としたプロ野球の無料観戦を実施する。現在、様々な競技関係者と意見交換をしており、引き続き観戦する機会の拡充に努める。

しぶや 体験型イベントについて、総合スポーツセンターは交通の便が良くないため参加者が限られる。地域学習センター内の地域体育館での体験の機会を増やすよう、指定管理者への働きかけを求める。

答 弁 (地域のちから推進部長)

地域体育館を管理している指定管理者に対し、気軽に無料で参加できるイベント形式の体験会を増やすよう働き掛ける。

しぶや 一般の方々が気軽に総合スポーツセンターや地域体育館を利用できることをアピールしてはどうか。個人利用の回数を増やすなど、利用方法の見直しも検討してはどうか。

答 弁 (地域のちから推進部長)

管外への表示による無料公開日や個人利用可能日の周知のほか、町会に回覧や掲示を依頼するなど発信している。利用方法の見直しは、各地域体育館の地域特性に合わせて検討する。

観光大使について

しぶや 足立区には観光大使はいない。区にゆかりのある方々に観光大使を依頼し、イメージアップ、PRに繋がるよう取り組むべきかと考える。区の見解を伺う。

答 弁 (産業経済部長)

観光大使は、イベントの集客やPRに繋がると考える。その一方で、区の顔として一時的な評判だけでなく、将来にわたってふさわしい方かどうか、慎重な見極めも必要と考える。

介護予防事業について

しぶや 介護予防事業の必要性和期待が高まる一方、限られた予算の中で既存事業の目標設定や費用対効果等を含めた有効性を再考し、事業の見直しを図っていくべきと考える。今後の取り組みを伺う。



答 弁 (高齢者施策推進室長)

既存事業の中には、成果の把握が困難などの課題も認識している。事業指標の見直しや費用対効果が低い事業の廃止・縮小に着手する。併せて、ICT技術活用の準備も進める。

「足タク」実証実験について

しぶや 舎人区民事務所管内は入谷町会のみ実験エリアとなっている。エリア決定の経緯を伺う。

答 弁 (交通対策担当部長)

実証実験の開始に当たり、舎人地区町会・自治会連絡協議会の会長会議へヒアリングを行ったところ、「各町会・自治会の役員内で話をしたが、交通に関する要望はなく、入谷町会を中心に検討を進めてください」との御意見をいただいたことに拠る。よって、舎人四・五・六丁目は今回の実験エリアの対象外となった。

しぶや 地区外の医療機関には行けないとの声が聞かれる。利用方法の改善等をどのように図るのか伺う。



答 弁 (交通対策担当部長)

地区外の医療機関も乗降スポットにしてほしいとの要望は区も把握している。タクシー事業者へのヒアリングで、地区外への移動は所要時間が長くなり、稼働できる台数が減るという意見があり、地区内のみ限定した。8月頃から利用者アンケートやタクシー事業者へのヒアリングを予定、その結果を踏まえ、新たな乗降スポットの検討を行う。

しぶや デマンド交通が地域の足となっている例は全国で多く見受けられる。「足タク」も広く利用される交通システムとなることを期待する。更なる利用者登録の増加の取り組みを伺う。

答 弁 (交通対策担当部長)

SNSや広報誌、地域ニュースなどによる情報発信のほか、実際の利用状況や要望等を踏まえながら説明会を開催するなど、利用者登録の増加に向け、周知を図る。

古千谷橋プチテラス廃止について

しぶや これまで花壇の整理や清掃など運営維持に携わってくださった方々には心から感謝を申し上げる。交通安全週間に伴うテントの設置場所確保と、良好な景観の形成、地元住民に寄り添った説明を求める。

答 弁 (道路公園整備室長)

テント設置は、見沼代親水公園を候補地の1つとして町会・地域の方々と丁寧な対話と説明を行う。景観については、景観形成基準に基づき見沼代親水公園沿いの緑と連続するよう誘導する。

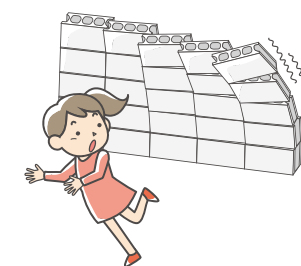
耐震化対策について

しぶや フェンス設置工事助成が今年度より開始された。2か月ほど経過した現在の申請状況を伺う。

答 弁 (建築室長)

申請数は7件で、うち1件が、通学路沿いの申請だ。今後も、ブロック塀等の所有者を訪問し、制度活用を働きかける。

しぶや 危険なブロック塀をなくす取り組みが重要だ。制度活用を周知するため、区内関係団体に協力を求めるべきと思うが、認識を伺う。



答 弁 (建築室長)

区のパンフレット等へ関係団体の東京土建一般労働組合や首都圏建設産業ユニオンなどの窓口を追記することと併せ、所有者へ直接制度活用の働き掛けを行って頂けるか、先方と協議する。